



カンボジア・シェムリアップからの便り

Totet Banaynal s.j.

●支援者の皆様

2021 年 11 月現在、Covid19 への予防対策は続けていますが、私たちの生活は徐々に日常に戻りつつあることを喜びの中でご報告します。



笑顔と喜び 何ヶ月かの自粛生活が終わり日常の行動ができる ようになって喜ぶ子どもたち

● パンデミックとロックダウン中の教育現場

初めに、Kids & Smile の皆様がいつも寛大なご支援を 続けてくださることに心から感謝いたします。

カンガス神父と私で岡村夫妻から寄贈された学校を 見るために Banteay Srey の近くの村を訪問したことが 思い出されました。

2021 年 5 月以降、この地域の子どもたちや家族の生活は厳しいものでした。3 月 20 日から、学校での対面授業や様々な集まりが政府によって禁止されましが、感染者は予想より拡大し警戒レベルも上がりました。

外出禁止令が出て休校となり、Piak Snaeng 村の学校は、 タイなどの出稼ぎから戻ってくる人々の検疫センター になりました。 感染者が多く出たトンレサップ湖の Prek Toal 村では、陽性者は船でバッタンバン市に送られ医療を受けました。私たちの学校の生徒やその家族も含まれていました。

幼稚園のある Kompong Khleang は厳重警戒下となり 地域から外出禁止となり Taom 村では、村内での移 動は許可されていましたが、村どうしの行き来がで きなくなりました。

教会の新しい鐘は、手洗い、ソーシャルディスタンス、 常にマスク着用などの注意喚起のために 1 日 3 回鳴 らされました。

今は、この村に来ないでください

シェムリアップ市では感染拡大していたので、教師たちから私たちが村に来ないよう忠告され、また、9月には市内の多くの地域が警戒体制を強め、約2週間外出禁止となりました。救急車のサイレンの音がすると感染者が出たのではないかと心配しました。

● 食料配布

厳戒体制の中でも、村の80家族に食料パックを配るための外出はできました。食料パックは米(25kg)と缶詰類で1袋\$25相当のものです。

赤ん坊のミルク代や、薬代、失業者の家庭、二人の子どもにはオンライン授業用にと、中古の携帯購入などに「Covid 支援金」として資金援助しました。



Covid 食料パック配布 受け取りは年配者が来ることに限定しましたが、子どもがせがんでついてくることもありました。



食料パックの受け取りの際はマスク着用、ソーシャルディスタンスが前提ですが、同じ村人の場合は大目に見られる傾向がある様でした。

●規制解除

シェムリアップの主要地域が全てロックダウンされましたが、9月末には、ウィズコロナ政策が発表され、事実上ロックダウンは終了しました。

検疫センターも病院にも不安のある人は自主的に出掛けることになりました。

警察が感染者が出た家の規制線を張る事も取りやめたので人々にも徐々に自由が戻り大事な死者の祭礼の間は家族が集まって祈ることが可能となりました。

残念なことに私たちのスタッフの感染も押えられませんでした。

政府が、感染者のカウント方法を簡易検査による陽性者数から更に PCR 検査後の陽性者数に変更したため、毎日の感染者数が 900 人前後だったのが、毎日 180 人位に急減し、そのことが人々に安堵感を与えました。そして、予防の徹底が前提ですが、大学、高校、続けて私立小学校も通学が再開されました。

●授業開始の準備

こちらシェムリアップの幼稚園でも慎重に授業再開 の準備が始まりました。

両親とのミーティングもお互いのソーシャルディスタンスをとるため少人数ずつで行いました。

Covid のためにお互いに会えなくなって 1 年半経ち、11 月に先生たちが久しぶりにシェムリアップに集まり、お互いに再会を喜び励まし合いながら、次年度の授業の準備を始めました。



教師は子どもたちと一緒に1週間のワークショップと授業の準備。 ワークショップの責任者はSr. Pornthipです。



■ 時間割 月曜日(算数、図画、英語) 火曜日(書き方、詩、英語) ■ 水曜日(算数、歌、図画) 木曜日(書き方、体育、自由時間) ■ 金曜日(音楽/ダンス、復習、読書)



2022 年度の授業の準備

●私たちが直面している課題

コロナ禍で約2年の間に子どもたちは成長し、Piak Snaeng 村では、14歳ぐらいの子どもは両親と一緒に家から遠く離れた畑などで労働力として働いています。

このような事情で、以前のように子どもが集まり活気の ある学校に戻すことは難しい問題です。

11月の最後の2週間、徐々に集まって活動を始めました。子どもたちと家族のために現地へ赴いての活動も少しずつ再開できることを願い、子どもたちがクリスマスには集まることができるよう願っています。

来年 1 月 10 日に学校の新年度が始まると公表され、今 準備を進め教師の新しい制服も購入し、新しい黒板も 用意しました。



2021 年 11 月 26 日、Prek Toal 水上村にて。 久しぶりに子どもたちは集まりましたが、人数は限られ全員 集まることができません。



この少女の名はラタナ9歳です

第一人、妹 (1 歳半) 一人がいます。彼女の父親は農場で働いています。いつもは母親が家事全般と子どもたちの世話をしていますが、両親が外出している時は、この9歳のラタナが弟や妹の世話をしています。また、父親が留守で母親が病気になった時、彼女は弟や妹の食事を作り、妹の身体を洗ったりもしました。ラタナは教会では、本を元の場所に戻したり、祭壇の用具の片付けなど神父様の手伝いも積極的に行なっています。



ヨセフを抱くトテット神父

小さいヨセフはシェムリアップから両親と一緒にイエス農場にやって来ました。生後約14ヶ月です。彼と彼の姉(2歳)は神からの贈り物です。二人の両親は結婚して6年、子どもに恵まれませんでしたが、神はその祈りに答えて二人に子どもを授けました。子どもたちはマリアとヨセフと名付けられました。両親は教会で信徒育成に携わり、他の家庭の信仰やその重要性などを指導しています。父親の Map はバッタンバン司教区の若者の信徒育成もしています。

Kids & Smile 2020 年度決算報告

2020年10月1日~2021年9月30日

		科 目	実績	備考
収入の部	寄付金収入		¥ 68,344,049	賛助会員他 寄付金
	販売収入		¥ 1,221,000	卓上カレンダー販売
	収入 計		¥69,565,049	
支出の部	寄付金	アフリカ	¥34,621,807	聖マリア修道女会 アフリカ管区
		カンボジア	¥7,011,807	カンボジア シェムリアップ教会
		寄付金 計	¥41,633,614	
	運営活動費	通信費	¥415,743	
		事務用消耗品費	¥ 12,886	
		支払手数料	¥ 248,960	
		支払報酬料	¥220,000	
		印刷費	¥ 149,661	
		雑費	¥ 10,000	
		法人・事業税等	¥ 272,947	
		原価償却	¥8,040	
		運営活動費 計	¥ 1,338,237	
		支 出 計	¥ 42,971,851	

コンゴ民主共和国における3つの プロジェクト支援

広島で帰天されたで夫妻が、カンボジアやアフリカの恵まれない子どもたちのためにと、多大な遺産をカンガス神父さまを通して Kids&Smile に託されました。そのことは前号の Smiling でお知らせしました。その思いを受けて Kids&Smile ではこのお金を有効に使わせていただくため、慎重に検討しました。

カンボジアについてはトテット神父様からの窮状報告などに基づいて、教師の給料、ライス・スーププログラムについて支援することを決めました。

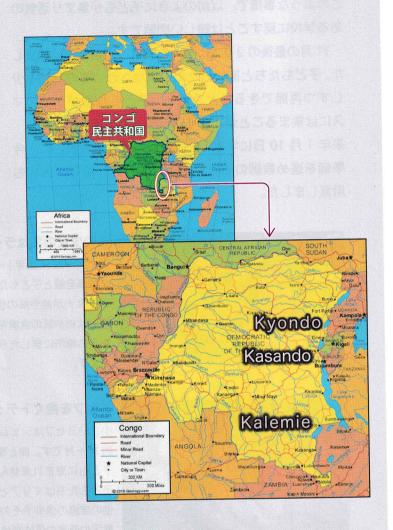
一方、コンゴ民主共和国については、聖マリア修道 女会(以下聖マリア会)のシスターに、子どもたちや 成年たちのために、今どのような教育や生活環境に関 する計画を考えているかをお尋ねしたころ、3つのプロ ジェクト案を提示いただきました。それらが私たちの 支援主旨にあっていることを確認し、支援することに しました。ここでは、その3つのプロジェクトの内容 と最近届いた進捗状況をご報告したいと思います。

第1プロジェクト:北キブ州カサンドにおける中等学校の6教室の建設

カサンドは、北キブ州の中心地ブテンボから約70Kmのところに位置します。カサンドの中等学校は、LESTONACソーシャルセンター(聖マリア会運営)の敷地内にありますが、施設の設備はとても貧弱です。教室はソーシャルセンターで大工仕事、裁縫などを訓練する成年たちと共有して使っているので、ソーシャルセンターの活動時には屋外で授業をしなければなりません。今後、カサンドの小学校やその他の地域から来た成年たちが、安定したレベルの高い学校教育や社会教育トレーニングを受けるためには、この地域にしっかりした中等学校が必要です。そのために充実した施設を持つ学校建設を考えています。



















第2プロジェクト: 南キブ州カレミのマンバにおける小学校建設

マンバは、カレミから 10Km 離れた Tabac-Congo 街道沿い、カレミ空港の南東に位置します。この地域では住民の子どもたちに対する教育ニーズが高く、質の高い総合的な教育を目指しています。

一方、紛争による暴力に不安を抱え、その犠牲者である子どもや疎外されている女の子がいます。こうした子どもたちを受け入れ、生活環境を改善することで自分の人生に責任を持ち、将来の RDC のために積極的に行動できるようにサポートするため、初等教育に力を入れたいと考えています。

カレミ市では学校の数は多いのですが、どこも教室 が不足して午前午後に分かれた二部制教育となってい ます。聖マリア会のシスターの教育に惹かれる保護者 が多く、教育施設の充実は保護者の強い要望であるた め、早急に小学校の建設を目指したいと思っています。

第3プロジェクト:北キブ州カサンド における診療所の拡張建設

カサンドでは内戦により暴力で傷けられ、少しでも 安全なところへと逃れてきた人々(国内避難民)を多く 受け入れています。その人々のために診療所は患者で 溢れかえっています。すでに2人の医師がいるにも関 わらず、十分な医療設備環境がないために研究・診療 に支障をきたしています。また診療所全体の建物も老 朽化しているため、一刻も早く充実した施設を建設し たいと切に願っています。 以上3つのプロジェクトについて、私たちは数回に 分けてブテンボ(カサンド地域の支援)とブカブ(カ レミ地域の支援)の銀行に支援金を送りました。カレ ミからのプロジェクトの進捗状況はまだ届いていませ んが、カサンドの学校建設、診療所の拡張建設につい ては経過報告が届きましたので、ここにお知らせいた します。そして、次のような感謝のメッセージを受け 取りましたのでご紹介いたします。

『私たちはすでにカサンドに新しい何かが芽生えつつあることに感謝の歌を歌うことができます。すべての人のために、より良い世界を願うために、連帯している方々のために、これからも神の祝福がありますように』

このようにカサンドの学校建設は希望に満ち溢れ順調に進んでいますが、第3プロジェクトの診療所拡張建設は、産院棟の診療室の雨漏りがひどく、その補修にお金を使わざるを得ないという報告(2021年12月3日付)をいただいています。



16歳のお母さん



カサンドの診療所

■キョンドの病院で最近起こった事件

最近の北キブ州のキョンド(Kyondo)では、反政府武装勢力による地元住民への銃撃、誘拐などの非人道的行為が再び起こっています。

さらに聖マリア会の病院が真夜中に襲撃され放火されたそうです。そのとき勤務に従事していた医師が亡くなるという事件が起こりました。このように RDC の紛争はまだそこに住む住民や子どもたちに暗い影を落としています。







襲撃された病院(破壊される前の写真)

キョンドでは高山地帯に住民が暮らし、 農業を営んで生活している

2年間待たされ、いよいよ 東ティモールで活動を始める

COVID19 の大流行で 2 年間国境が閉鎖され、聖マリア修道女会がアタウロ島(東ティモール)で活動する機会を長い間待たされました。しかし、2022 年 1 月から活動を開始することができました。

今回アタウロ島に赴任できたのは、スペイン、フィリピン、ケニア、ブルンジ、コンゴ民主共和国等のそれぞれ異なる文化圏から来た5名のシスターたちです。

●アタウロ島の人々

ここは東ティモール本土の北に位置する小さな島で、 人口は約 11,400 人。本土の住民の多くはカトリック教 徒ですが、アタウロ島では約 6,000 人のプロテスタン ト信徒と数家族のイスラム教徒が住んでおり、カトリック教徒は約 4,800 人に過ぎません。

しかし、隣人同士の間には全く問題はなく、信仰が どうのこうのという人はいません。共に平和に暮らし ていて、困ったことがあれば互いに助け合っています。

●アタウロ島の自然環境

ここの公立学校の学力水準は高くなく、島にはプロテスタントの学校以外に私立学校はありません。インターネット環境は非常に貧弱で、世界から孤立した生活を送っていると言えます。

また、アタウロ島と他の地域とを結ぶ船の運航は、 天候によって左右され非常に不規則です。

ここの気候はとても暑く厳しく、集中豪雨や繰り返す 干ばつもあり、土壌は石が多く混じり、肥沃な土地で はありません。各家庭が作れる食べ物はわずかな量で す。人々の栄養状態は良くありません。水は人が飲ん でも安全ですが、塩分を含んだ水しか得ることができ ません。

(国連統計で東ティモールは、世界の最貧 20 カ国にランク付けされています)

●テトゥン語の問題

アタウロ島に住む東ティモール人の大多数はテトゥン語しか話しません。ここではテトゥン語の習得が必要です。ことばがまだ十分でない私たちですが、子どもたちを通して地域住民との良い関係を作っています。

ベロイ・アタウロにて 2022年3月6日







黄色と赤の DORAGON BOAT から小さい TAG BOAT に乗り移って浜辺に降りる



アウトリガーカヌー (?)



つる状の草を編んで縄を作り



縄飛びの縄ができる









僕らはアーティスト

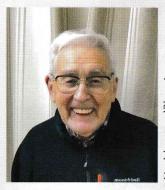


Sr.NORAH は、スペインから持ってきた 野菜のタネを石ころだらけの畑に植える



砂でレリーフを作る

「幸せと喜びの文化を伝えましょう」 ルイス・カンガス S.J.



豊臣秀吉の時代、キリスト者は迫害されました。そして、1597年2月には長崎で26人のキリスト者が十字架上で殺されました。このことが起こった時、長崎の大勢のキリスト者は、恐れをなして船に乗って逃げま

した。その中のある船はカンボジアに着きました。この人たちは、自分の信仰を自由に表現しながら自然にカンボジア人と分かち合っていき、カンボジアの中にキリスト的な文化を広げていきました。

カンボジアのキリスト教の最初の宣教師は日本人でした。今のカンボジア人はそれを誇りに思い、ここに示した絵を描きました。(二十六の十字架、日の丸、着物を着ている日本人が船に乗り、カンボジアに着いたことが描かれています。これは、カンボジアの司教団が書いたカンボジア人向けの公共要理の絵の一つ)

キリスト教文化を分かち合って日本人が始めた活動を、今また日本人である私たちが続けようと思っています。この文化は、人々がみな平等に幸せに生きることでしょう。近年、いろいろな国の人々が平和と食べ物を求め、自分の大切な国を捨て、命がけで難民となり他国に救いを求めて逃れています。

この人々が子どもの時から教育を受け、大人になって仕事し、幸いにも自分の国に帰り、自分の言葉、自分の家庭生活を築くことができたら、それはどんなに幸せで、喜び溢れていることだろうと思います。

今、これを読んでいる Kids & Smile の恩人であるあなたは、カンボジア、アフリカの子どもたちに勉強ができる機会を与えています。私たちの先祖であるカンボジアに渡った長崎の人々と同じように、恵まれない子どもたちに幸せで喜びの文化を、これからも伝え続けましょう。



■ ウクライナへの緊急支援

21世紀になってこのような戦争が起こるとは思いもしませんでした。Kids & Smile が支援しているカンボジア、コンゴ民主共和国、東チモール等で過去に起きたこと、今起きていることで、いつも真っ先に被害を受けるのは、弱い子どもたちや女性たちです。

ウクライナの惨禍が 1 日も早く終結するよう祈りつつ、ウクライナ支援を行うことにしました。JRS(Jesuit Refugee service イエズス会難民サービス) という国際 NGO があります。1980 年にア ルペ総長が創立し、その後、国際紛争が起こった地域から出る難民の世話を続けています。今回の紛争においても、すばやく活動を始め、ウクライナ国内、ポーランド、ハンガリー で避難民の世話を開始しています。この JRS を通じて支援することにいたしました。

~ 見えない恵みに気が付く ~ ルイス・カンガス神父



クリスマスと新年の喜びを申 し上げます。

私たちは、今までクリスマ スとお正月を、首を長くして 待ちに待っていました。プレ ゼントを贈ったり貰ったりし て楽しかった!また、親せき や子どもたちに会いに行った

り、外で食事をしたりして楽しかった!!

でも、突然、このコロナ禍によって急ブレーキがか かり、楽しみと自由が奪われた気がします。

今、旅行を止めて会いたい人に会うこともできず、子 どもたちはスキンシップを求めても、距離を保ってマ スクをかけているので昔の暖かさは冷たくなったよ うな気がします。

コロナ禍は、家庭、経済、仕事などに厳しさを与えて います。でもこの経験は、私たちの目を開けさせ、従来 当たり前に楽しんだ数々のことは当然のことではな



く、恵みだと理解させてくれました。

また、先祖と両親が作った平和と安全な世界の素 晴らしさを教えています。コロナ禍が過ぎ去った ら(簡単には過ぎ去らない思うが)、私たちは自由 で平和な生活の価値をもっと深く味わうことがで きるでしょう。

無限な神が、この世に来られるために貧しい馬小 屋を選んだことの意味を私たちはいつももっと深 く味わいましょう。

(2021年12月記)

2022 年カレンダー販売のご報告とお礼

2022 年度版カレンダーは今回も完売いたしました。ご購入くださいました皆さまへ、心よりお礼申し上げます。 おかげさまで、昨年を上回るご注文、ご寄付、そしてカンガス神父さまへのメッセージ、スタッフへの労りのこ とば等を皆さまからいただき、多くのお気持ちを受け取りました。皆さま、ご協力本当にありがとうございました。 ※ 今年も同様に企画販売を予定しております。楽しみにお待ちください。

メールマガジンの配信

近日中に Kids & Smile からのニュースを配信する準備をしています。ご希望される方は下記 アドレスにメールをご送信ください。なお、メール本文にはお名前(ふりがな)をご記入し list-meibo@kids-and-smail.or.jp 送信をお願いいたします。

私たちの団体の活動は、皆さまからの会費およびご寄 付によって運営されています。私たちの団体の目的に 賛同し一緒にアフリカ・カンボジアの未来を築いてい く賛助会員を募集しています。

会費

替助会員 1口 2,000円 1口 10,000円 団体会員

ご寄付の方法

【郵便振込の場合】

郵便振替口座 00110-1-265940

加入者名: Kids & Smile

【銀行振込の場合】

三井住友銀行麹町支店

普通預金口座 店番号 218 口座番号 9415509

その他、随時のご寄付については、何時でもお幾らで も感謝のうちにお受けいたしております。

支援してくださる全ての方に、年2回発行の会報誌お よび Newsletter (不定期) などをお送りいたします。



一般社団法人

Kids & Smile

〒105-0003

東京都港区西新橋2丁目18-2 新橋 NKKビル7階

TEL.03-4405-4067

Web サイト www.kids-and-smile.or.jp/

E-mail: info@kids-and-smile.or.jp 法人設立年月日 2018年 10月 12日

